

平成29年度第10回教育研究評議会議事要旨

日時 平成30年2月16日（金）15時28分～17時05分
場所 大学本部2階大会議室
出席者 宮崎学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，板橋教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，有馬農学部長，米山附属図書館長，山下医学部附属病院長，宮武地域学歴史文化研究センター長，都築評議員，荒木評議員，岩本評議員，倉岡評議員，後藤評議員，大島評議員
欠席者 早瀬副学長・全学教育機構長（代理：堀全学教育機構副機構長）
陪席者 佐々木監事

○ 学長から，新任評議員の紹介があった。

○ 前回議事要旨について

学長から，平成29年度第7回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付，確認したところ，意見のあった箇所については修正し，ホームページに掲載している旨，報告があった。

学長から，本日の審議事項は8件，報告事項は3件，その後審議事項1件を予定している旨，報告があった。

○ 審議事項

1. 国立大学法人佐賀大学学長選考会議委員の選出について

学長から，本件について，改選を必要とする学長選考会議委員の選出を行うものである旨の説明があった。

次いで，総務課長から，国立大学法人佐賀大学学長選考会議規則第3条第2号により，国立大学法人佐賀大学教育研究評議会規則第2条第3号から第9号までの委員のうちから，学長選考会議委員を選出するものであり，板橋教育学部長を国立大学法人佐賀大学学長選考会議委員として選出する旨の説明があり，審議の結果了承された。

2. 審議事項（非公開）

3. 審議事項（非公開）

4. 教育研究院の設置に伴う基本的な規則等の制定及び改正について

学長から，本件について，平成30年4月1日の教員組織の再編に向けて，基本的な規則の制定及び改正を行うものである旨の説明があった。

次いで，企画評価課長から，平成30年4月1日の移行時における教育研究院，学域・学系等の混乱を避けるために，事前準備として骨格となる規則等の制定について，人事課長から，選考規則等について，総務課長から，規則の一部改正について説明があり，審議の結果了承された。

5. 「国立大学法人佐賀大学教育研究院の設置に伴う運営体制の整備に関する要項」の制定について

学長から、本件について、平成30年4月1日の教員組織の再編に向けて、運営体制の整備を行うための要項を定めるものである旨の説明があった。

次いで、企画評価課長から、平成30年4月1日の移行時は、人事発令等の事務が輻輳することが予想されるため、3月中に必要な準備を行う旨及び要項の内容について説明があり、審議の結果了承された。

6. 佐賀大学かささぎ奨学金実施規程の一部改正について

学長から、本件について、佐賀大学かささぎ奨学金実施規程を一部改正し、成績優秀者を対象とした給付型奨学金へ見直しを行うものである旨の説明があった。

次いで、兒玉理事から、申請手続きを予約型から予約を要さない形にする等の実施規程の一部改正について説明があり、審議の結果了承された。

7. 寄附講座の設置（更新）について

学長から、本件について、医療法人社団コスモス会オクダ内科循環器科と有限会社浪速丸海事から、寄附講座「臓器相関情報講座」の設置について更新の申込みがあった旨の説明があった。

次いで、寺本理事から、当該寄附講座更新について概要等の説明があり、審議の結果了承された。

8. 会社情報提供エリアについて

学長から、本件について、佐賀県内企業による会社情報提供エリアを、各学部学生、教員が利用する本学図書館1階に恒常的に設置するものである旨の説明があった。

次いで、寺本理事から、会社情報提供エリアの概要及び契約期間、利用に関する規程、募集要項等について説明があり、審議の結果了承された。

9. その他

学長から、附属図書館長について、佐賀大学附属図書館長及び副館長選考規則第4条第1項により、評議会において、推薦された候補者について意見を伺い、指名することとしたい旨の発言があり、芸術地域デザイン学部の山崎 功教授が候補者としてあがり、特に意見はなかった。

○ 報告事項

1. サバティカル研修実施報告書について

後藤理事から、本件について、平成29年9月1日から平成30年1月31日に全学教育機構准教授 中山亜紀子氏がカナダで研修を行った旨、また、本来サバティカル研修後は本学に寄与していただくことになっているが、11月に広島大学への採用が決定したため、2月末帰国予定から1か月早めた旨の報告があった。

次いで、堀全学教育機構副機構長から、報告書の内容について説明があった。

2. 平成29年度第2次国立大学法人佐賀大学補正予算について

財務課長から、本件について、平成29事業年度予算に関する収入・支出額の増減に伴う収入・支出予算の補正を行うものであり、捻出できた財源については、次年度以降、経費節減に寄与する事業費等に充当する旨及び補正予算の追加財源は432百万円である旨の報告があった。

3. 全学委員会等の審議状況報告について

後藤理事から、拡大役員懇談会において、次期のビジョンの策定について議論を行った旨の報告があった。

寺本理事から、平成30年度の科研費申請率が目標の90%以上を達成した旨の報告があった。

和田理事から、eラーニングコンプライアンス教育受講状況について、各部局で受講を勧めていただきたい旨の発言があった。

4. その他

特になし。

○ 審議事項（非公開）

以上